

開館40周年記念特別展
「太陽の塔からみんなくへ」
70年万博収集資料

1968年から1969年にかけて「日本万国博覧会世界民族資料調査集団」が世界の諸民族の仮面、神像、生活用具を収集しました。収集活動にかかわる書簡や写真とあわせてコレクションの生い立ちを紹介いたします。これらの資料は、70年大阪万博で太陽の塔テーマ館の地下に展示され、現在、みんなくの貴重なコレクションとなっています。



祖先像(ニューヘブリデス諸島、現バヌアツ)

体験コーナー
自分のところに浮かんだ仮面を描いて、みんなくで21世紀の「仮面展示」を完成させましょう。仮面に万博の思い出や未来へのメッセージを書き込んでいただけます。

日時 特別展会期中
会場 特別展示館2階特設コーナー
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

ギャラリートーク
会場 特別展示館
日時 3月10日(土)11時～11時30分
講師 野林厚志(本館 教授)
日時 3月17日(土)11時～11時30分
講師 平井京之介(本館 教授)
日時 3月24日(土)11時～11時30分
講師 伊藤敦規(本館 准教授)
日時 3月31日(土)11時～11時30分
講師 川瀬慈(本館 准教授)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

開館40周年記念企画展
アイヌ工芸品展
「現れよ。森羅の生命」
木彫家 藤戸竹喜の世界
熊をはじめとする北の動物たちからアイヌ文化伝承者の等身大の彫像まで、藤戸竹喜(1934)の主な作品をとおして、創作活動の軌跡とその背景をたどりま。

公開講演会
「70年万博からみんなくへ」
昨年開館40周年を迎えあらたな一歩を踏み出したみんなくの軌跡と未来について、存分に

みんなくゼミナール

日時 3月17日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示ををご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第478回
万博資料収集団
太陽の塔に集った仮面、神像、なりわいの道具
講師 野林厚志(本館 教授)



木彫 (台湾)

大阪万博を2年後に控えた1968年、世界の諸民族の資料を収集するというミッションが若き人類学徒たちに与えられました。限られた予算と時間とのなかで世界に挑んだ「万博資料収集団」を紹介します。

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と語る
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなくの展示資料」について分かりやすくお話しします。

3月4日(日) 14時30分～15時 本館ナヒひろは
イスラーム教育における音と文字
話者 相島葉月(本館 准教授)
3月11日(日) 14時30分～15時 特別展示館
特別展「太陽の塔からみんなくへ」
東南アジアを中心に
話者 平井京之介(本館 教授)
3月18日(日) 14時30分～15時 本館ナヒひろは
博物館資料情報の再収集
話者 E.M.北米資料と「ノースコミュニティ」の再会
伊藤敦規(本館 准教授)

語ります。
日時 3月23日(金)18時30分～20時30分
(17時30分開場)
会場 オールホール
(大阪市北区梅田、定員480名)
講演 吉田憲司(本館 館長)
パネルディスカッション
石毛直道(本館 名誉教授)
ヤノベケンジ(現代美術家)
吉田憲司(本館 館長)
司会 菅瀬晶子(本館 准教授)
主催 国立民族学博物館、毎日新聞社
※要事前申込、参加無料、先着順、手話通訳あり
お問い合わせ先
研究協力課 研究協力係
06・6878・8209

開館40周年記念シンポジウム
「民族誌コレクションの役割とその未来」
人間の理解にむけた博物館の挑戦
「人間とは何か」という根源的かつ魅力的な問題は、博物館においてどのように考えることができるのでしょうか。本シンポジウムでは、博物館のコレクションから、人間を理解するための切り口を考えます。
日時 3月25日(日)13時30分～16時30分
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
講演 木下直之(東京大学 教授、静岡県立美術館 館長)
発表 野林厚志(本館 教授)
丹羽典生(本館 准教授)
※申込不要、要展示観覧券

みんなく春の遠足・校外学習
事前見学&ガイダンス
春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。
日時 4月5日(木)、6日(金)
14時～16時30分
会場 本館第5セミナー室ほか

※参加無料
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
お申し込み・お問い合わせ先
国立民族学博物館 案内所
電話 06・6878・8341
(10時～17時)
Fax 06・6878・8441
カレッジシアター
「地球探究紀行」
会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費1000円、定員各回50名
主催 産経新聞社
共催 近鉄文化サロン、スペース9
特別協力 国立民族学博物館
千里文化財団

日本の鵜飼文化
日時 3月14日(水)13時～14時30分
講師 卯田宗平(本館 准教授)
アートと人類学のあいだ
私の履歴書、人文科学の今
日時 3月28日(水)13時～14時30分
講師 吉田憲司(本館 館長)
お申し込み・お問い合わせ先
ウエーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087
●無料観覧日のお知らせ
3月11日(日)は、本館展示と企画展を無料で観覧いただけます。ただし、特別展の観覧は有料となりますので、ご注意ください。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

友の会

友の会講演会

※会員無料(会員証提示)、一般500円
第476回友の会講演会(大阪)
文化遺産としての日本万国博覧会
人類の進歩と調和を再考する
日時 4月7日(土)13時30分～14時40分
会場 本館第5セミナー室(定員96名・当日先着順)
講師 鈴木紀(本館 准教授)
1970年に開催された日本万国博覧会は、世界77カ国が参加し、183日間の会期中に6420万人が入場した昭和の国民的イベントでした。あれから約半世紀、当時のテーマ館の地下展示場を飾った民族資料が国立民族学博物館で再び展示される今春、あらためて万博とはなんだったのかを考えてみたいと思います。万博のテーマとして設定された「人類の進歩と調和」の意味を、太陽の塔と世界各地から集められた民族資料を手掛かりに考察します。
※講演会終了後に講師の案内のもと、特別展の見学会をおこないます(40分、一般参加者は要展示観覧券)。

第122回東京講演会
のこされたミッション
E.M.(万博資料収集団)からみんなくへ
日時 4月14日(土)13時30分～14時40分
会場 モンベル御徒町店(定員60名・要事前申込)
講師 野林厚志(本館 教授)
1970年に大阪で開催された日本万国博覧会。テーマ館であった太陽の塔の地下には、世界各地の民族資料が展示されてきました。その資料の収集に当たったのが、若い人類学者で構成された「日本万国博覧会世界民族資料調査収集団(E.M.)」です。彼らの収集活動から国立民族学博物館の創設にいたる経緯を、当時の記録をもとに紹介します。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。

第78回体験セミナー
世界の製藍、日本の藍染め
気候と風土に育まれた色、藍を知る
5月26日(土) [開催地:滋賀県野洲市]
第91回民族学研修の旅
モンゴル、遊牧の民に出会う——揺籃の地オルホン川上流域と草原都市ウランハートルを訪ねる
8月8日(水)～15日(水) 8日間



研究部新メンバー
八木百合子 助教(人類基礎理論研究部)
総合研究大学院大学にて博士号取得後、外務省専門調査員として在ベルー日本国大使館に勤務。本館機関研究員を経て現職。専門はベルーを中心とする南米アンデス地域の民族学研究、とくに現代の宗教文化についての研究。

時	万博記念公園駅→国立民族学博物館
10	06 36
11	06 36
12	46
13	16 46
14	26 56
15	26 56
16	
17	
時	国立民族学博物館→万博記念公園駅
10	50
11	20
12	30
13	00 30
14	10 40
15	10 40
16	30
17	00

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp